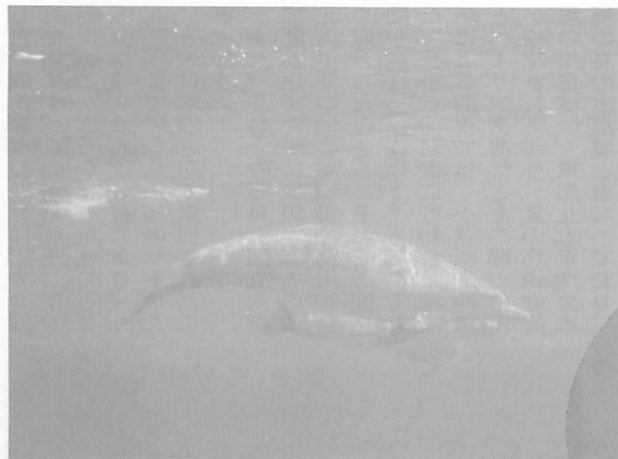
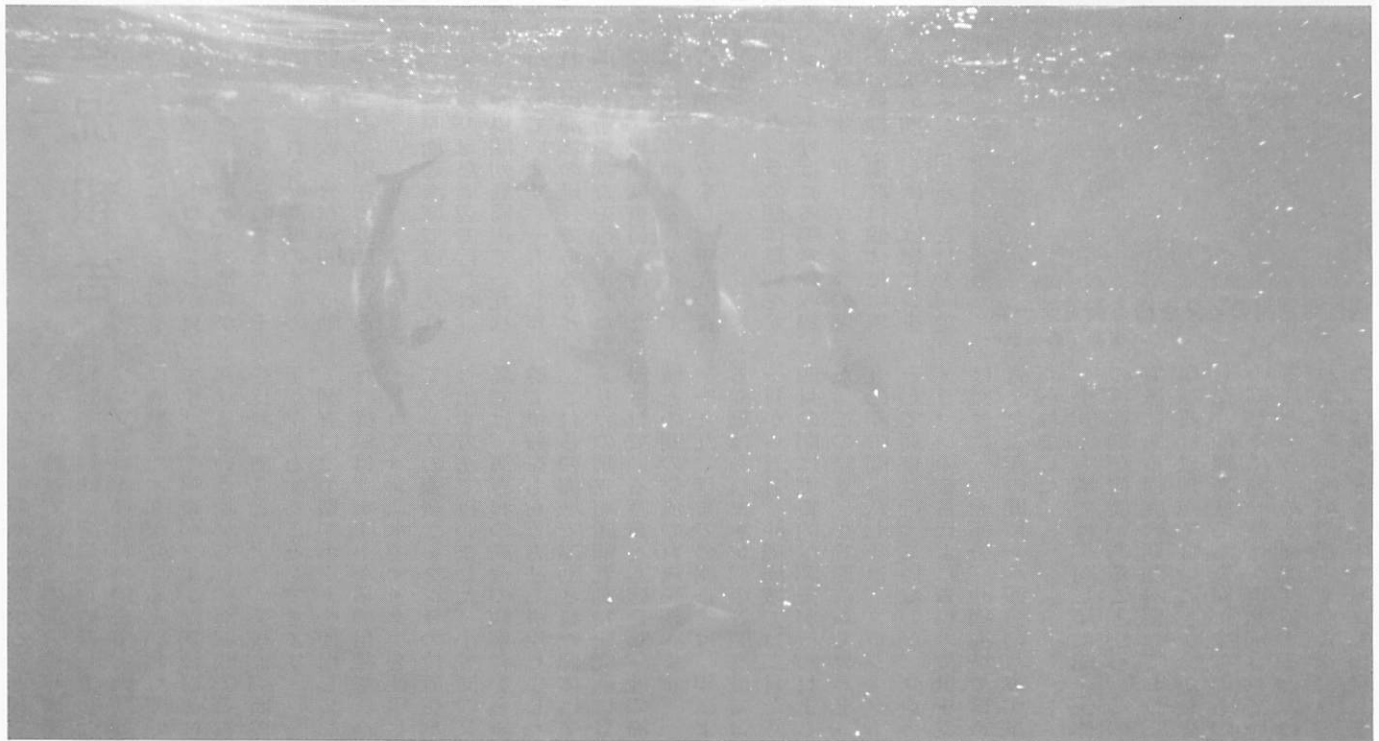




Megaptera

発行；小笠原ホエールウォッチング協会 東京都小笠原村父島字西町 04998-2-3215 (FAX兼用) メガプテラ=ギリシャ語で「大きなヒレ」



大阪府

西岡芳之さん撮影



じくこの小笠原近海で最もよく見られるハシナガイルカは人間に対してもっと慎重である。彼らはよく船の舳先の波に乗って遊んでくれるが、人が水中に手を伸ばした瞬間に離れていってしまう。それでも彼らは芸達者で、ザトウクジラ同様、ひねりを入れたジャンプ(スピニング)も得意だ。英名でスピナードルフィンと言われるゆえんである。そういった彼らの野生での特徴や生活をこわさずに、いつまでも彼らとふれあえる海を保持して欲しいものだ。

しかし、同じくこの小笠原近海で最もよく見られるハシナガイルカは人間に対してもっと慎重である。彼らはよく船の舳先の波に乗って遊んでくれるが、人が水中に手を伸ばした瞬間に離れていってしまう。それでも彼らは芸達者で、ザトウクジラ同様、ひねりを入れたジャンプ(スピニング)も得意だ。英名でスピナードルフィンと

ここで群れているイルカたち、バンドウイルカ(ハンドウとも言う)。成長すると体長が5メートル近い、大きなイルカだ。

水族館のショーなどで活躍しているのをよく見るが、かつてのテレビドラマ「マーズン」でもおなじみの、大変親しみやすいイルカである。ザトウクジラの北への回遊が始まる5月頃から夏にかけて、この愛嬌あふれるイルカたちに出会うことが多くなる。そこで、運のよいダイバーたちはこのように水中の姿も見られるというわけだ。

群遊するイルカたち、人間とのふれあい